

ブラジル連邦共和国南マットグロッソ州

提携年月日

昭和61年(1986年)4月22日

提携の動機及び経過

1979年沖縄県知事のサンパウロ市訪問の際、ブラジル連邦共和国下院議員からブラジル国との友好親善関係強化のための姉妹提携について提言があり、これを受けて在伯沖縄県人会が中心となって検討した結果、県出身者が活躍する南マットグロッソ州が推薦され、1986年4月22日沖縄県にて姉妹提携調印式が行われた。

2008年5月に同州からアンドレ・プチネリ州知事が始めて来県し、同年8月には安里副知事が同州を訪問した。2014年には高良副知事が、県人入植100周年記念式典に出席するため、同州カンポグランデを訪れた。

沖縄県とブラジルとの交流事業としては、昭和45年度からこれまでに、ウチナーンチュ子弟等留学生(旧海外移住者子弟留学生)を97名受け入れている。また、過去の事業では、昭和57年度から平成24年度までに技術研修員を45名受け入れた実績がある。

マットグロッソ・ド・スル(南マットグロッソ)州の概要

南マットグロッソ州はブラジル国中西部に位置し、国境をボリビアとパラグアイに接する。州土面積は約357,000km²で沖縄県の157倍、ブラジル国では23州中7番目の広さである。人口約260万人。州都のカンポグランデ市に住んでいる日系人の約7割が県系人である。



沖縄県・南マットグロッソ州姉妹提携宣言

日本国沖縄県とブラジル連邦共和国南マットグロッソ州は、西銘順治知事とラーメス・テベット副知事の名のもとに恒久的な友好関係を推進するため、ここに姉妹提携を締結する。

我々は、この提携により文化・産業・教育等幅広い分野の交流を図り相互理解の増進に努める。

この提携は、永久に沖縄県民と南マットグロッソ州民を結ぶ友好の絆となり、発展の礎となることを確信する。

昭和61年4月22日

沖縄県知事 西銘順治